

食品産業の国際競争力強化緊急対策事業のうち
JAS・JFS規格の認証支援に向けたモデル実証事業

【令和3年度補正予算額 60百万円】

＜対策のポイント＞

本年10月から実施した有機JAS制度の運用改善効果を実証するため、将来の輸出拡大に向けたステップとして**有機JAS認証取得予定者等の認証取得**を支援します。また、国内外の食品安全レベルの向上及び将来の輸出増大に向けたステップとして**JFS規格の認証取得等**や、**取得促進のためのリモート監査導入**を支援します。

＜事業目標＞

- オーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%まで拡大（2050年まで）
- 日本発食品安全管理規格の普及拡大（5,000件〔2022年まで〕）

＜事業の内容＞

1. 有機JASの認証支援に向けたモデル実証事業

30百万円

有機JAS制度の運用改善効果を実証するため、オーガニック市場の拡大や地域単位の有機農業の取組につながる売り先を確保している者やグループ単位で**申請**を行う者について、**将来の輸出拡大に向けたステップ**として**有機JAS認証申請者等**を支援します。

2. JFS規格の認証支援に向けたモデル実証事業

30百万円

① JFS規格の取得促進に向けたモデル実証及び情報発信への支援
国内外の食品安全レベルの向上及び輸出に向けて中小事業者が段階的に食品安全に取り組むことができるよう、食品工場等における**JFS規格のモデル的認証取得**を支援するとともに、規格・認証等の効果的な普及のため、**セミナーの開催等、情報発信の取組**を支援する。

② リモート監査システム構築に向けた取組への支援
食品工場等におけるJFS規格の取得促進のため、新型コロナウイルス感染の拡大を契機に必要性の高まっているICTを用いた**JFS規格におけるリモート監査導入に向けた取組**を支援します。

＜事業の流れ＞



〔お問い合わせ先〕

（1の事業）大臣官房新事業・食品産業部食品製造課基準認証室
（2の事業）大臣官房新事業・食品産業部食品製造課食品企業行動室

（03-6744-7182）
（03-3502-5743）

＜事業イメージ＞

